令和元年9月号
発行
天領校区まちづくり協議会

天領校区まちづくり協議会便り

かおみしり

令和元年 8月17日　第10回　天領校区盆踊り大会開催！



今年もたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました！



♡おかしをおはしでトリンピック

大蛇山ばやし、炭坑節の総踊りには大勢の方が参加され、盛り上がりました！最後の抽選会では、豪華景品も用意され、あっという間の楽しい時間でした。





♡大好評！ラムネ早飲み競争

令和元年 6月2日　天領校区一斉清掃を行いました！





6月2日（日）午前9時に天領小学校正門前に集合し、ボランティア袋を配布後、皆さん自分の地域にもどり、各地域の通学路を重点に清掃しました。ご協力ありがとうございました！





＜町内公民館・自治会の加入のオススメ＞

安心・安全な生活はご近所づきあいから！

町内公民館・自治会とは、自分が住んでいる家の近所の人々が集まり、話し合い、協力し合うことによって、よりよい地域づくりを目指す任意の団体で、一番身近な「社会とのつながり」です。また、天領校区では、町内公民館・自治会などで構成され、各種行事や地域づくりの活動、地域生活に関わる課題の解決などを行う「天領校区まちづくり協議会（まち協）」が組織されています。



加入については

＜問合せ先＞
天領校区まちづくり協議会　事務局
天領校区コミュニティセンター「かおみしり」
電話・FAX　0944-31-3567
月～金　9時～17時（土日祝は休み）

ご存知ですか？

「防犯灯」は、各公民館自治会が設置、維持管理費を町内会費でまかなわれています。新たに天領校区にお住まいになる方は「防犯灯」電気料のご協力をお願いします。



10月1日より「赤い羽根共同募金」活動スタート！

◆共同募金の意味と歴史

赤い羽根共同募金会は、民間の運動として戦後直後の1947年に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。「社会福祉法」という法律をもとに、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。そして70年たった今、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

◆赤い羽根共同募金の仕組み

- 募金の約70%は、自分の町を良くするために使われています。
- 配分計画を決めてから募金（寄付）を集める仕組みです。
  ⇒30年度に集められたお金は31年度事業に使われます。
- 地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。
- 災害にも共同募金は使われています。

70th
おかげさまで70周年

ご協力をお願いします！

～天領校区 公民館・自治会のご紹介～

本年度より校区公民館・自治会の活動などを紹介していきます！
第2回は、天領町2丁目公民館のご紹介です。

☆天領町2丁目公民館　人口 424人　世帯数 191世帯　隣組数 16組

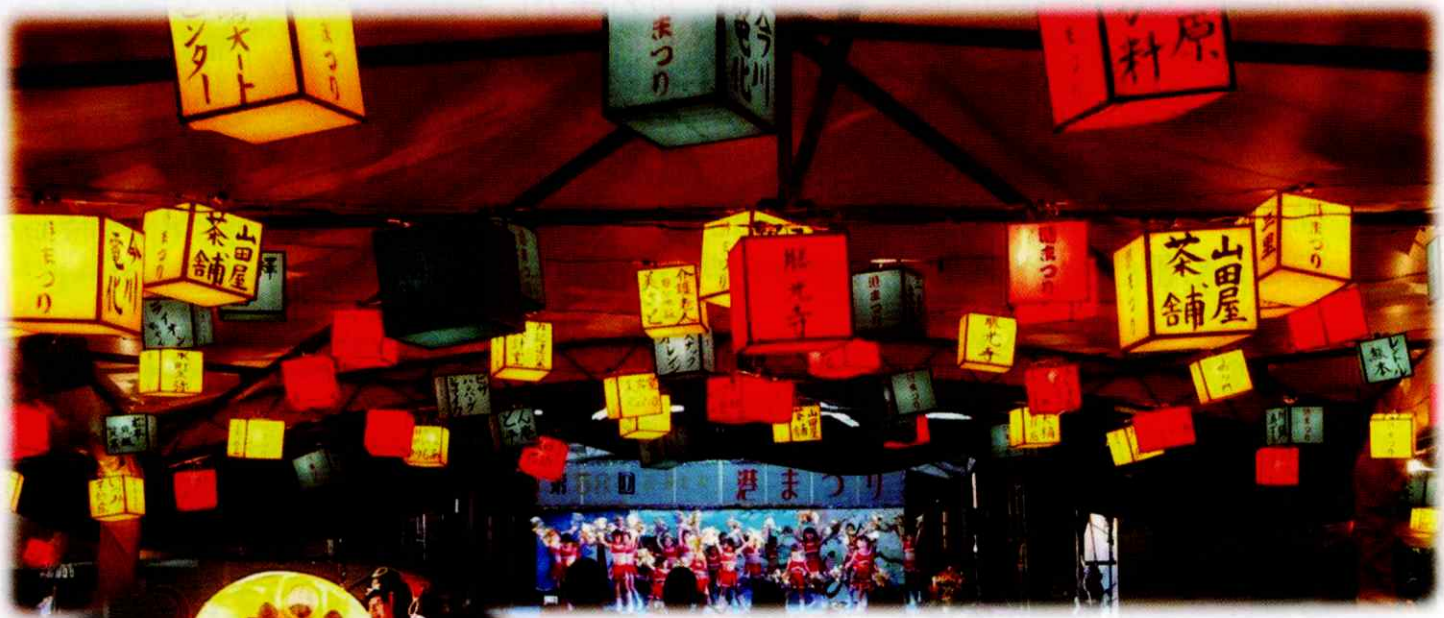
・主な年間行事
　子ども神輿・大蛇山まつり・諏訪川クリーンアップ（町内清掃活動）

梶原　純明館長を筆頭に、環境部、体育部、小学育成部（子ども会）で形成されています。また、館長の梶原さんは、天領校区社会福祉協議会会長も務めてあり、福祉関連の情報を発信されながら、住民の皆さんと足並みをそろえながら、住みよい地域のため励んであります。天2では、自前の草刈り機を所有してあり、諏訪川沿いの草刈りなど、予定日以外でも、気づいた時に取組む姿勢があり、天領公園なども常にきれいに維持されていますが、最近では空家も目立ち、維持・管理などの問題解決に向けて、天2公民館全体で、協議をされています。





2019 港まつり 開催！





7月13日～15日まで、三川坑跡にて開催されました。今年は天候に恵まれず、開催が危ぶまれましたが、総踊りのみ中止になりましたが、港まつりをかわきりに、大牟田のアツい夏がスタートしました。また、天領校区より、準備からかたずけまで、ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

天領校区行事予定表

積極的なご参加、ご協力をおねがいします！

月	日	曜	内　容	場　所
９	２２	日	ほっとあんしんネットワーク模擬訓練	天領コミセン
	２９	日	天領小学校運動会	天領小学校
１０	１～	火	赤い羽根共同募金活動開始	
	５	土	天領校区敬老会	天領小学校
	２０	日	右京ふれあい体育祭	天領小学校
１１	３	日	グランドゴルフ大会	天領小学校
	１０	日	かおみしり祭り	天領コミセン
	３０	土	天領校区集団出前がん検診	天領小学校

天領校区まちづくり協議会をもっと知っていただけるように連続掲載始めます。

第2回　校区まちづくり協議会及び住民の役割とは

（１）校区まちづくり協議会の役割

①住民自治機能 地域の各種団体のネットワーク化を図り、地域が抱える問題・課題について地域住 民自らが把握し、話し合い、協力して解決していくことにより、住民ニーズを反映し た住みよい地域社会の実現につながります。

②安心安全な地域社会の形成 地域では、これまでにも住民が安心して日常生活を営むことができるよう、住民相 互の理解と協力のもとに、子どもや高齢者の見守り活動や自主防災組織をつくるなど、 行政だけでは対応しきれないきめ細かな活動で、安心安全な地域づくりが推進されてきました。今後も、犯罪や万一の災害に備えての防犯・防災や地域ぐるみの子育て支援、高齢者や障害がある人も誰もが安心して暮らせるような地域の支え合いなどに取 り組むことが必要です。

（大牟田市地域コミュニティ基本指針より抜粋）

皆で創る、住みよか天領校区

地域住民の皆様の積極的な協力、参加をお待ちしております。

～お問合せ～

天領校区まちづくり協議会　事務局
天領校区コミュニティセンター「かおみしり」月～金　９時～１７時
☎３１－３５６７　　Mail　tenryoumachikyou@outlook.jp

活動内容は 大牟田市まち協 **または、**

Facebook 天領校区コミュニティセンター **にてご覧いただけます。**